

高校生が描く

まちの未来

新年明けましておめでとうございます。
 3月6日で新久慈市が誕生して5周年。
 「人輝き、活力みなぎる久慈市」の実現に向けて、さらに歩みを進めます。
 今年の新春座談会のテーマは「まちの未来」です。将来の久慈市を担う高校生に、夢や希望、久慈市への期待などを存分に語っていただきました。
 (5ページまで・本文中敬称略)

きたいと思っています。

■馬内 市内の介護福祉施設から内定をいただきました。
 2年生から実習や久慈拓陽支援学校のボランティア活動に取り組み、「人の役に立ちたい」という思いがさらに深まりました。多くを学び、自分を向上させる良い経験になったと思っています。

■下館 仲間と一緒に「イカ短バグ(イカと短角牛を使ったハンバグ)」の開発に取り組んできました。1社だけですが販売もさせていただけでなく、完成に近づけられたと思っています。
 進路は関東の鮮魚販売会社から内定をいただきました。学校で学んだことを生かして頑張りたいと思います。

励む活動

■市長 しっかりと目標を掲げて頑張ってきた様子が伝わります、うれしく思います。

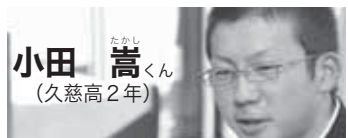
小田くんは国際交流や国際化に関心があるようですが、関心を持つようになったきっかけは、どんなところですか。

■小田 中学3年の時に出場した英語弁論大会がきっかけで、英語のおもしろさを感じ、まちの国際化にも興味を持つようになりました。今も勉強していますが、ALTから本場の英語を聞くと、授業を受けるだけでは、まだまだ勉強が足りないと感じています。もっと外国の方と交流をし、広い範囲での勉強がしたいと思っています。

■市長 久慈市としても中高生海外派遣事業など、これからも交流を続けていきたいと思っています。

昨年、フランクリン市を訪れた際、アメリカの学生たちが積極的にボランティア活動に取り組み姿を見て、日本の子どもたちも頑張っているなど同時に感じました。新里

対談者



注ぐ熱意

■市長 新年あけましておめでとうございます。3月6日で新久慈市の誕生から5周年を迎えます。これまで「人輝き、活力みなぎる久慈市」の実現に向けて、市民の皆さんと協働しながら取り組みを進めて参りました。5周年の節目を契機とし、より一層、市の発展を目指して参りたいと決意を新たにいたしました。
 さて本日は、将来の久慈市を担う高校生の皆さんにお集まりいただきました。皆さんが抱く夢や希望と、久慈市に期待することなどをうかがい

ながら、一緒に久慈市の未来を描いていきたいと思えます。将来を担う皆さんの頑張りはまちに元気を与えてくれます。皆さんは今どんなことに熱意を注いでいるのでしょうか。まずは活動や志望する進路についてお聞かせください。
 ■小田 野球部に所属し、今は春に向けて練習を頑張っています。英語に興味があるので国立大学の国際関係の学部に進みたいと思っています。
 ■新里 ヤングボランティアSEEDのリーダーとして市街地活性化に向けて商店街の方々と一緒に活動しています。将来は国立大学に進学し、久慈市で福祉関係の仕事につ

活動で感じる達成感 市街地を活性化したい



●にいさと・しょうこ●久慈高2年。久慈中出身。ヤングボランティアSEEDのリーダーとして活動中。将来は福祉の職を目指す

さんがヤンボラを始めたきっかけや、やりがいを感じるのとはどんなところですか。
 ■新里 友達に誘われたのがきっかけです。ヤンボラが市街地でイベントを開くときは、商店街の方々と意見交換をします。高校生と大人で視点の違いを感じますが、多くの意見があってこそ充実した活動ができると思います。

ことをやったら商店街に行きやすくなる」などの提言もしていければ、さらによい関係が築けるかもしれません。
 馬内さんは介護、高齢者福祉の道を歩み始めるのですね。これまでの実習の際、どんなことを感じながら取り組んできたのですか。

■市長 商店街の方たちには、厳しい状況ですが、高校生から元気をもらって頑張ろうと話しています。今後「こんな

■馬内 人の役にたつ仕事を選びたいと思い、介護の道を選びました。人と接することは簡単ではありませんが、難しい分「ありがとう」といわれると、うれしい気持ちでいっぱいになります。介護が一番必要なのは思いやりの心だと考えています。また施設を利用される方との信頼関係も大切です。この2つの大切さを実習では実感しました。

まちを国際化 もっと交流を深めたい



●こだ・たかし●久慈高2年。夏井中出身。昨年の春季高校野球県大会ではベンチ入りし優勝を経験。文武両道で英語にも意欲